介された「不妊治療休暇制度促進事業」をはじめ、「UIJターン促進事業」などの事業を着実に実施します。

来年度以降については、本市独自の施策を盛り込んだ総合戦略に基づき、安定した雇用を創出し、津市への新しい人の流れをつくり、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえ、特色を生かした地域を築き上げることで、「ひと」と「しごと」の好循環を作り、その好循環を支える「まち」の活性化に一体的に取り組んでまいります。

「もっとできること」を実行します

そして、これからの４年間においては、さらなる高みに向けた目標を掲げます。それは、市民のために、地域のために「もっとできること」の着実なる実行です。現状に満足することなく、志を高く持ち、さらなる津市政の充実を望むたくさんのお声にお応えしていく、もう一歩進んだ取組、それが「もっとできること」であります。

まずは、**小中学校の普通教室へのエアコンの設置**を始めます。未来を担う子どもたちの学ぶ環境をより充実させるため、今年度に増改築が始まる校舎から着手し、一志中学校の大規模改造、美里の小中一貫校開校に向けての増改築、南が丘小学校のプレハブ校舎解消のための増築、戸木小学校の児童数の増加に対応するための増改築において、新たに作る教室に設置します。来年度以降も普通教室へのエアコンの設置を進めてまいりますが、その時期や手順については来春までに明らかにいたします。

次に、久居駅周辺地区のまちづくりです。合併前から久居地域の最重要課題であったものの、なかなか前に進まない状況でしたが、本年４月、**久居駅周辺地区都市再生整備事業**として、国から社会資本整備総合交付金の内示を受けました。この交付金を活用することにより、合併前からの課題として引き継いだ**久居駅東口や市道新町野口線の整備**に加え、**(仮称)津市久居ホールの建設、水路改修と避難路整備**、さらには**久居市民会館跡地への久居交流広場の整備**など、今後５年間で取組を進め、副都市核として新たな活力を創出してまいります。

また、長年、解決策を見出し得なかった**津駅北側にある大谷踏切の拡幅**や**旧明村役場の保存活用**は、市民の安全確保のためにも、このままにしておくわけにはまいりません。対応すべき施策を精査し、新たに実施していく事業の着手に向けた端緒となるものとして、調査や計画策定に要する経費を今回の補正予算に盛り込みました。

所信表明を行う前葉泰幸市長

これらのほかにも、**市民サービスの充実を図る事業や課題にも正面から挑みます。**中学生の医療費無料化や高齢者のコミュニティバスの運賃無料化、防災情報戸別受信装置の配布、育児休業取得時に保育所に通う兄や姉を退所させず保護者の希望に応じて継続して保育ができる環境の整備、地域から真に求められるよりきめ細やかな獣害対策の実施、企業誘致のさらなる推進と企業間のビジネスマッチングや創業に関するサポートを行う体制の整備、地域の皆様の日頃の活動を支える公民館やコミュニティ施設の老朽化対策などについて、早急に政策協議を行い、施策を進める時期と手順を来春までに明らかにします。

そして、この秋には**地域懇談会を創設**します。市役所をあげて、これまで以上に地域に寄り添った仕事ができる強固な体制を整えてまいります。

市民の声に耳を傾け、きちんと応えていく「対話と連携」は、まちづくりの原点です。地域の実情に応じ、より強力に、より確実に課題を解決していく、また、よりきめ細やかに小学校区や自治会連合会単位で取り組んでいく、そういった地域懇談会にしてまいります。

地域の望みや願いをどうすれば実現できるかを考え、少しでも前に進めます。例え地域からの要望をそのまま実現することが出来なかったとしても、それに代わるアイデアを示すなど、課題解決に向けた努力を重ねます。

地域に寄り添い、よりきめ細やかな行政サービスの提供や心を込めた気配りにより、地域と行政がしっかりと手を携え、強い絆でつながった、そのような関係を築き上げてまいります。